



あこう通信

～「いい顔 いい声 いい心」～

発行：令和6年3月15日（金）NO.25 文責：副校長 津田 幸一



学校HP URL <http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html> （2次元コードからどうぞ）

## 「凛」卒業式

18日、第70回卒業式を挙行了いたします。  
卒業生118名、保護者、教職員、来賓の皆様  
が出席する当日は、厳粛かつ感動的な式となる  
ことでしょう。

式では、校長先生から卒業証書を授与され、  
来賓の方々から祝辞や激励の言葉をいただきま  
す。また、卒業生は、学校生活を振り返り、感  
謝の気持ちを伝えます。

卒業生の一人ひとりが、「凛」として、堂々  
とした姿で式に臨むことを期待しています。

式後は、各学級で最後の学活の授業、在校生  
及び職員による見送りが予定されています。

御参会される保護者の皆様へ

8:55～9:15

にお越しください



（次号3月22日発行に式中の写真を掲載します）

## 卒業生を送る会

3月4日（月）、卒業生を送る会を実施しました。

卒業式に参加できない4年生以下の児童にとって、卒  
業式に代わる、6年生へのこれまでの感謝を伝える会でも  
ありました。

工夫を凝らした各学年の出し物、全校合唱など、心温ま  
る発表と最高学年の引継ぎ式、卒業生による合唱が主な  
内容でした。

6年生はとても喜んでいました。加えて、参観された卒  
業生保護者の皆様にも、感動の会だったというお言葉を  
いただきました。



## 教育の根幹「人権教育」

学校評価で「人権教育について知りたい」という御要  
望がありましたので記します。

人権教育とは、**すべての人が人として尊重され、その  
権利が守られる社会を実現するために、子どもたちに人  
権に関する知識や理解を深め、人権感覚を育むことを目  
的とした教育です。**

単に子どもたちに人権に関する知識を教えるだけで  
はありません。子どもたちが自分自身の人権を理解し、  
他者の人権も尊重できるようにすることこそがゴール  
です。人権が侵害されたときに、自分の意見や考えを主  
張し、人権を守るための行動を起こせるようにすること  
も目指しています。

さて、「人権教育は教育の根幹」とであると言われます。  
未来を切り開く人の育成は学校の使命です。そして、  
予想困難な未来社会では、**自らの個性を自覚して生かし  
つつ、他者と協働していく資質能力が重要です。**他者と  
力を合わせていくなかで、自分自身を輝かせていくため  
に、「わたしOK、みんなOK」という資質能力です。  
そして、これこそが人権感覚です。

### ★ 人権教育の具体的な内容や方法

人権教育の具体的な内容としては、以下のようなもの  
が挙げられます。

#### ① 人権に関する知識を学ぶ

人権に関する知識を学ぶためには、授業や教材、図書  
などを通じて、人権の基本的な考え方や、人権に関する  
具体的な問題について学びます

#### ② 人権問題を理解する

人権問題を理解するためには、人権侵害の事例や、人  
権を守るための取り組みについて学びます。

#### ③ 人権感覚を育む

人権感覚を育むためには、ロールプレイやグループワ  
ークなどを通じて、自分自身の考えや気持ち、他者の気  
持ちは理解する力を養います。

人権教育は、授業だけでなく、学校行事や日常生活と  
いった全ての活動を通して、各学年の発達段階に応じた方  
法で行われていきます。

その中で、特に高学年には、**ジェンダーの多様性につ  
いての学習**を行う場合があります。「LGBTQ」などの用語  
の知識伝達に留まらず、多様な個性を尊重する態度を育  
んでいくことを目的としています。

### ★ 家庭での人権教育の重要性

人権教育は、学校教育だけでなく、家庭での教育も重  
要です。家庭では、子どもたちが人権を学び、人権感覚  
を育むことができるような環境を整えることが大切です。

具体的には、以下のことに心がけるとよいでしょう。

#### ① 子どもの意見や考えを尊重する

#### ② 差別や偏見のない言動を心がける

#### ③ 人権に関する話題を積極的に話し合う

家庭で人権教育を進めることで、子どもたちが人権を  
大切にする心を育むことができます。